

完了報告書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住 所 山形県山形市松波二丁目 8 番 1 号
管理機関名 山形県教育委員会
代 表 者 名 教育長 高橋 広樹

令和 6 年度マイスター・ハイスクール普及促進事業に係る完了報告書を、下記により提出します。

記

1. 基本情報

管理機関	(管理機関名) 山形県教育委員会
	(代表者職名) 教育長
	(代表者氏名) 高橋 広樹
事業名	令和 6 年度マイスター・ハイスクール普及促進事業 (連携体制強化型) 山形県魅力ある県立高校づくり推進事業 「次世代地域産業人材育成事業」
事業実施期間	契約日～令和 7 年 3 月 3 1 日
モデル	先進的取組 / 連携体制強化
連携体制を構築する 産業分野	農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報
拠 点 校 名 ※学校名の末尾にかっ こ書きで、実施対象の 学科を記載 〇〇高等学校 (農業 科) 等	山形工業高等学校 (工業)・上山明新館高等学校 (農業・商業)・山 辺高等学校 (家庭・看護)・寒河江工業高等学校 (工業)・村山産業 高等学校 (農業・工業・商業)・新庄神室産業高等学校 (農業・工業 ・商業)・新庄南高等学校 (商業)・米沢工業高等学校 (工業)・米 沢商業高等学校 (商業)・置賜農業高等学校 (農業)・長井工業高等 学校 (工業)・鶴岡工業高等学校 (工業)・加茂水産高等学校 (水 産)・庄内農業高等学校 (農業)・酒田光陵高等学校 (工業・商業・ 情報) (計 1 5 校)
連 携 予 定 の 産 業 界 等 名 (団体名・企業名等)	本事業においては、各産業系県立高等学校に産業教育連携協議会 (コンソーシアム) を立ち上げており、コンソーシアムの構成団体で ある全ての産業界と連携する。 <u>コンソーシアム委員 14 校計 182 名 (令和 6 年度)</u> <u>企業 (農業経営者含む) 役員等 59 名、大学教授等 19 名、県市町村職員</u> <u>37 名、商工会議所等関係団体 18 名、学校関係者 31 名、市町村教育委</u> <u>員会 7 名、小中学校 4 名、地元関係者 (自治会等) 7 名</u>

2. 事業概要等

(1) 産業界と専門高校の連携体制に関する申請者の課題

【現状】

- ・山形県教育委員会では、令和5年度から産業系高等学校14校に産業教育連携協議会（以下コンソーシアムと称する。）を設置した。
- ・コンソーシアムの目的は、次のとおりである。
 - ①持続可能な地域社会の実現や、社会や産業の急激な変化に対応した産業系高校の教育の一層の充実を図るため、自治体・産業界・大学等の関係者で構成する協議会において、地域のニーズを踏まえた教育課程の開発や、地域や産業界等との連携・協働による特色化、魅力化に向けた新たな取組みの機会の創出や充実を図る。
 - ②生徒が、地域課題の発見・解決や、先端的な技術・技能の習得のため、地域を学びのフィールドとした関係機関との共同研究等による実践的・体験的な学習活動を推進する。
 - ③高校生の地元定着や県内回帰に向け、高校生への地域産業に関する情報提供を行うとともに、志願者増に向けた地域、中学生等への積極的な情報発信を行う。

【課題】

- (1) 令和5年度に産業系高等学校14校にコンソーシアムを設置し、地域産業界との連携強化を図ることとしたが、地域産業界が「自分事」として、主体的に学校運営に参画しようとするノウハウや意識が不足しており、「学校に意見する」ことになりがちなコンソーシアムが散見され、学校と地域産業界との連携に課題がある。
- (2) 本県における職業学科においては、AI・IoT・ドローン・ロボティクス等次世代分野の技術進化など、社会や各産業の変化に対応できる人材の育成が喫緊の課題である。
- (3) 第6次山形県教育振興計画では「郷土にまなび、郷土を大切にする」ことを目標とし、高校生の県内就職率を80%としており、専門教育の他に、地域と連携した教育を行うことで、地域に愛着を持ち、職業観・勤労観及び技術を向上させる必要がある。
- (4) 職業系学科の入学者選抜最終倍率は低下が続いており、大きな課題となっている。
令和6年度各学科の最終倍率 農業 0.62 工業 0.67 商業 1.01 水産 0.53 家庭 0.60 看護 0.78 情報 0.83

(2) 事業概要

(1) 県教育委員会における取組

①地域産学連携コーディネーター派遣

コンソーシアムを設置する産業系高等学校に対し、地域産学連携コーディネーターを派遣し、コンソーシアムの円滑な運営と地域産業界との連携強化を図る。

- ・地域産学連携コーディネーターの派遣 14校×3回
- ・教育委員会における打ち合わせ・会議等9回（6月～2月）

②産業教育連携校会議及び研修会の開催

コンソーシアム設置校による地域産業界との連携状況について情報交換を行う連携校会議及び地域産学連携に関する先進県、先進校等の取組を学ぶ研修会の開催

- ・産業教育連携校会議及び研修会 参集型 1 回・web 会議 1 回

(R7 年度は、シンポジウムを開催予定)

マイスター・ハイスクール事業他県 CEO による研修会を開催（福井県コーディネーター）

(2) 拠点校における取組

①各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修

- ・次世代分野のスペシャリストによる講義・実習

15 校大学科 1 回（土木分野を学ぶ学科は 1 回追加する）

県内又は県外講師（旅費基準地：東京）を招聘

- ・地域産業界の参加希望者も受講可能とする。

②産業現場における研修（長期インターンシップ含む）

- ・15 校大学科ごとに産業現場における長期インターンシップ及び企業における各科目の実習、授業を実施する。

③SNS 等を活用し、専門学科の学習の魅力等について、積極的に情報発信を行う。

(3) 事業目的

○生徒が、地域や社会をフィールドとした学びの中で、技術の進展を肌で感じ、学校の学びを社会貢献に活かそうとする意欲を持つ職業人を育成する。

○外部人材の活用により、地域との連携・協働による探究型学習を推進する。

○地域産業の理解により、県内就職等地元定着や、大学等進学後の県内回帰に繋げる。

(4) 事業実施体制

【山形県教育委員会（管理機関）】

- ・事業運営委員会（年 2 回）
- ・地域産学連携コーディネーターの配置（拠点校へ派遣）
- ・産業教育連携校会議及び研修会の開催
- ・成果報告書（デジタル版）発行

【拠点校（県立産業系高等学校 15 校）】

産業系高校においては、令和 5 年度に各学校に産業教育連携協議会（コンソーシアム）の設置が完了しており、コンソーシアムにより産業界との連携を一層推進する。

【コンソーシアムの構成団体】

企業（農業経営者含む）役員等 59 名、大学教授等 19 名、県市町村職員 37 名、商工会議所等関係団体 18 名、学校関係者 31 名、市町村教育委員会 7 名、小中学校 4 名、地元関係者（自治会等）7 名 計 182 名（令和 6 年度）

①大学・学校関係者

- ・大学教授 ・ 県立産業技術短期大学校教授等 ・ 校長、同窓会、PTA 関係者等

②自治体等

- ・山形県、県総合支庁担当課 ・ 学校所在の市、町行政担当部局長 ・ 市、町教育委員会

③産業界

- ・商工会議所、商工会 ・ 各企業 ・ J A、農業経営者 ・ 県、市工業会

④コンソーシアム事務局

- ・事務局長：各校事務部長（教頭、事務長）

- ・事務局員：市、町各課員、市商工会、教職員（学科長等）

●管理機関の役割について

管理機関に設置する事業運営委員会は、複数の拠点校コンソーシアムの会長（学識経験者等）、県産業教育審議会委員等有識者、県教育局高校教育課長等で構成し、事業運営委員会や地域産学連携コーディネーターの派遣、産業教育連携校会議・産業教育連携シンポジウム等を開催し、拠点校における地域連携等を強力にバックアップすることとしている。

（５）事業の進捗管理、成果の検証、改善等の仕組み

①事業管理

山形県教育局高校教育課職業教育担当に本事業事務局を置き、コーディネーターや指導主事の派遣により、拠点校におけるコンソーシアムの事業を管理するとともに、進捗を確認する。

②成果検証、改善等

次世代分野各研修及び産業現場研修ごとに参加生徒・企業等を対象とした事業評価を実施し、成果検証と分析を行う。

また、各産業系高校生全体に対し、統一したフォームにより、拠点校の対象生徒、教職員に事業評価を実施し、事業実施における生徒の変容や学校における地域連携の取組みについて、事業運営委員会において分析・検証を行う。

コンソーシアムにおいては、評価・分析を基にPDCAサイクルにより確実に事業改善につなげる。

●達成目標及び指標①（※数値や数量で表すことができる定量的指標が望ましい）

【達成目標】

長期インターンシップ及び企業等における実習・授業を推進し、地域産業や企業等の理解を促進させ、県内就職率を向上させる。

【指標】

- ・インターンシップ実施率（在籍者に占めるインターンシップ実施率の割合）⇒10%以上増加
※令和6年度の実績については、国立教育政策所の調査に合わせ、取りまとめ予定
- ・県内就職者の割合（県内就職内定率）R6.3 卒業者 80.1% ⇒80%以上
⇒令和7年3月卒業 就職内定者の県内就職の割合 77.2%（12月末現在）

●達成目標及び指標②（※数値や数量で表すことができる定量的指標が望ましい）

【達成目標】

文部科学省調査研究事業によるアンケート等により、拠点校の対象生徒、教職員に事業評価を実施し、生徒の学習満足度を測る。

【指標】

- ・将来の目標を考え、それを実現するために努力している生徒の割合 80%以上
⇒R6実績 87.1%
- ・将来、地元の企業に就職したいと思う（進学する場合は卒業後に）生徒の割合 80%以上
⇒R6実績 70.2%（地元の発展に貢献したいと思う割合 R6実績 83.0%）

(6) 成果発信の取組

【管理機関（県教育委員会）】

- ① 高校教育課公式 SNS 等により県内外への成果発信
- ② 産業教育フェア等による県内外への成果発信
- ③ 成果報告書（デジタル版）の発行による県内外への成果の発信・普及
（令和 7 年 5 月発行予定）

【拠点校（コンソーシアム）】

プレスリリースや SNS 等を活用して、本事業について積極的に県内外への情報発信

3. 令和 6 年度実績

(1) 事業運営委員会の構成

氏名	所属・職	役割
栗山 恭直	山形大学理学部教授	委員長・山形工業コンソーシアム会長
鈴木 英夫	上山市副市長	上山明新館コンソーシアム会長
帯谷 伸一	(株) 東北ハム代表取締役	鶴岡工業コンソーシアム会長
佐藤 俊一	山形県立産業技術短期大学 校長	有識者・山形県産業教育審議会委員
高橋 良治	県高等学校産業教育連盟会長 (山形工業高等学校長)	産業系高等学校長代表
伊藤 久敏	山形県教育局高校教育課長	事業責任者
黒木 晃	山形県教育局高校教育課 課長補佐	事業副責任者
神原 洋	山形県教育局高校教育課 主任指導主事	事業総括・産業教育総括担当
菅原 航平	山形県教育局高校教育課 指導主事	事業担当・産業教育担当
東 博一	山形県教育局高校教育課 指導主事	事業担当・産業教育担当
鑑水 智津子	山形県教育局高校教育課 指導主事	事業担当・産業教育担当

事業運営委員会が本事業において果たす役割

本事業の推進を図るため、各事業の達成目標及び成果指標を分析・検証するとともに、次年度以降の事業計画の策定を行う。

また、拠点校におけるコンソーシアムの企画や運営、地域連携に対して、指導、助言、評価にあたる。

※年 2 回開催

(2) 事業運営委員会における実績

- ・ 令和 6 年度事業の評価・次年度への改善事項の検討
- ・ 産業系高等学校と地域との連携に対する伴走支援の在り方について
- ・ 産業系高校の魅力化・特色化の推進と産業系高校の理解促進（PR 方法等）
- ・ 幼、小、中学校との連携による産業系高校への志願者の確保について
- ・ 事業終了後のコンソーシアムの自走に向けて、産業界や地元市町、高等教育機関等との連携の在り方

(3) 事業項目別実績

事業項目		実施期間(令和6年5月 ～ 令和7年3月)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理 機 関	①地域産学連携コーディネーター派遣			○	○	○	○	○	○	○	○		
	②産業教育連携校会議・研修会の開催			○		○				○			
	③研究報告書の発行											○	
拠 点 校	次世代産業人材育成研修プログラム												
	④次世代分野研修 (AI・IoT・UAV・ロボティクス)			○	○	○	○	○	○	○	○		
	⑤次世代分野産業現場実習(研修)			○	○	○	○	○	○	○	○		
	⑥次世代分野産業長期インターンシップ			○	○	○	○	○	○	○	○		

<詳細>

(1) 管理機関

①地域産学連携コーディネーター派遣

・コンソーシアムを設置する産業系高等学校に対し、コンソーシアムの円滑な運営と地域産業界との連携強化を図るため、地域産学連携コーディネーターを派遣する。

②産業教育連携校会議及び研修会の開催

・コンソーシアム設置校による地域産業界との連携状況について情報交換を行う連携校会議及び地域産学連携に関する先進県、先進校等の取組を学ぶ研修会を開催する。
(マイスター・ハイスクール事業他県 CEO による研修会)

③研究報告書(デジタル版)の発行による成果の発信・普及

(2) 拠点校

④各産業の次世代分野(AI・IoT・ドローン・ロボティクス)研修

次世代分野のスペシャリスト(産業実務家又は大学教授等)による講義・実習を実施する。

⑤次世代分野産業現場実習(研修)

地域企業等産業現場において、各科目の実習(研修)、授業等を実施する。

⑥次世代分野産業長期インターンシップ

地域企業等産業現場において、概ね2週間程度の長期インターンシップを実施する。

①山形工業高校

○各産業の次世代分野(AI・IoT・ドローン・ロボティクス)研修：2回

・(株)ハイテックシステムによるAI、IoT技術に関する講義：2年生197名。

・県内土木企業の魅力の講義と小グループによる意見交換：2年生土木技術コース27名。

○産業現場実習：5回

・全5学科による国土交通省東北地方整備局河川工事現場実習や会津大学体験見学、新築工事現場見学実習等：1年生32名、40名、36名、40名、35名計183名。

○長期インターンシップ：4名

・地元電気設備会社や自動車販売会社、県総合支庁、設計事務所。配線工事補助や自動車メンテナンスの補助、砂防ダム建設現場補助や、ゾーニングによる設計等を体験した。

②上山明新館高校

○各産業の次世代分野(AI・IoT・ドローン・ロボティクス)研修：2回

・イノチオプラントケア(株)による農業用ドローン体験研修：2年生13名。

・地元農業法人による農業におけるAI・IoTやSNSの活用について：1・2年生67名。

○産業現場実習：1回

・(株)アキバーナーセリーや(株)高畠ワイナリーで花栽培の講義・見学。地元物産館で農産物

の販売等視察、株式会社高畠ワイナリーにて果樹加工体験と講義：1年生35名。

○長期インターンシップ：3名

- ・地元農園2件と地元洋菓子店1件。播種や収穫、ハーブティー作り、ドライフルーツや地元特産品の詰め作業、サクランボクッキー作りや洋菓子作成補助等体験。

③山辺高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：1回

- ・介護ロボットメーカー3社による実演及び体験と福祉を取り巻く環境と介護ロボットの役割について講演：2・3年生30名。

○産業現場実習：1回

- ・魚匠ダイニング沖海月と渚の交番カモンマールにおける庄内で獲れた地物鮮魚の料理実習。「森里川海」「魚の話」講話。「サクラマス水産県産研究所職員」による講話と漁協見学と体験：1年生27名。

④寒河江工業高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：1回

- ・デジコンキューブ㈱による地域産業で活躍するためのキャリアパスやAI・ドローンの活用事例、社会の変化について講義：全生徒238名。

○産業現場実習：1回（3か所）

- ・㈱山本製作所、山形イハラ㈱、㈱チノアの3社で各社工場見学や製品生産工程や工場の特色学習や実際の機材に触れる体験と講義：2年生22名。

○長期インターンシップ：2名参加

- ・地元機械加工等製造業2件。機械加工、二次加工、旋盤加工、バリ取り加工、ゲージ検査設計研修、シーケンサーによる制御回路実習、組立年等の体験。

⑤村山産業高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：3回

- ・三和技術コンサルタント㈱による産業用ドローンの活用事例、今後のドローン産業について講義：1・2年生25名。
- ・㈱スプリックスによるスマート農業への展望について講義とシステム開発、プログラム設計実習：2年生40名。
- ・建設業協会村山支部によるディスカッションおよび現場実習：1年生20名。

○産業現場実習：5回

- ・東北文教大学、でん六、古窯の大学講義や施設見学、工場説明や見学：1年生23名。
- ・山形県工業技術センター・山形県立産業技術短期大学の講義・見学：1年生30名。
- ・㈱アスクで学校栽培の酒米成分分析や科学的観点からの品質評価実習：2年生5名。
- ・東北農林専門職大学、附属農林大学校の学校見学や進路学習：2年生18名。
- ・東北農林専門職大学、附属農林大学校、㈱南東北クボタ、イノチオプラントケ㈱の学校見学や企業見学、進路学習：2年生22名。

○長期インターンシップ：7名参加

- ・地元機械加工等製造業2件、天童市物産館1件、農家等4件。CAD製図体験、NCプログラム、バルブ組立、溶接、値段交換、ふるさと納税返礼品作業、観光ルート作成業務等、先輩との対談、コンバイン基本操作、農作業機械のメンテナンス、稲作作業等の体験。

⑥新庄南高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：1回

- ・陸上自衛隊神町駐屯地第20普通科連隊（ドローン所持部隊）、第6情報隊（UAV所持部隊）による7月の豪雨災害や、近年の県内の災害支援を例に、災害時に無人ドローンが果たす役割について講義。また、日本の近隣諸国におけるサイバー犯罪、さらに宇宙空間に

おけるサイバーセキュリティについて講義を実施：2・3年生36名。

○産業現場実習：1回

- ・米沢市役所、道の駅米沢、三井屋工業㈱において産業現場や企業の実態を見学・実習し、産業現場や企業を取り巻く市場の知識・技能・技術を身につけ、地域社会貢献に活かすための意欲と態度を育成：2・3年生36名。

○長期インターンシップ：1名参加

- ・新庄商工会議所1件。中学校キャリア体験学習の準備、市指定ごみ袋販売補助、新庄最上地域観光プロジェクト委員会でのフィールドワーク、最上大産業まつり全体運営の補助等の体験。

⑦新庄神室産業高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：2回

- ・大和工営㈱技師によるドローン測量技術研修、ドローン自動飛行やウェイポイント飛行・手動飛行における写真撮影等の技術研修実施：3年生7名。
- ・㈱柿崎工務所、沼田建設㈱、県最上総合支庁農林整備課の技術者による企業紹介や講話、小グループに分かれたグループディスカッションを実施：2年生16名。

○産業現場実習：3回

- ・山形航空電子㈱における生産品や社会貢献活動、施設見学、技術理解や働くことの意義を実習形式で実施：2年生28名。
- ・山形大学農学部、酒田米菓㈱におけるカリキュラムや研究内容講義、農場や諸施設見学、加工品製造工場での米菓製造体験実施：1年生38名。
- ・三井アウトレットパーク仙台港、キリンビール仙台工場における産業現場体験や企業を取り巻く市場の知識習得、地域社会貢献意欲と態度の醸成をねらい、施設見学や体験を実施：1年生5名。

○長期インターンシップ：7名参加

- ・酪農、農家、農園、パン屋、モーター製造工場、建設会社の6件。酪農におけるボロだし、おがくず敷、餌やりや農家におけるニラ出荷作業、農園におけるトマト選定、葉かき、出荷、モーター製造工場における製造工程体験、洗浄機製作、コイル計測、部品のピッキング作業、建設会社における施工管理や品質管理、安全管理体験。

⑧米沢工業高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：2回

- ・生成AI（人工知能）チャットGPTについての現状とこれからの利用例などを学習した。最新の情報を紹介する形で講義を実施：2年生79名。
- ・南陽市建設課、古久根建設㈱、太田建設㈱、㈱置賜総合開発における仕事の意義や高校で学ぶべき事の全体講話やグループワークを実施：2年生17名。

○産業現場実習：1回

- ・㈱ユアテックにおいて企業概要説明、電気工事实習、研修施設見学を実施：2年生23名。

○長期インターンシップ：3名参加

- ・電子基板製造工場、精密加工会社、建設会社3件。電子基板製造工場における基盤製作、マイコンプログラミング、三級技能検定試験課題作成体験、精密加工会社における旋盤作業や研磨作業、NC旋盤の見学、建設会社における足場組立・片付け、廃棄物回収、板金加工等を体験。

⑨米沢商業高校

○産業現場実習：1回

- ・(株)相田商会（講話、廃プラスチックリサイクル作業工程見学）、太田建設(株)（講話、重機の運転席に乗り安全確認等）、AGCディスプレイグラス米沢(株)（講話、VRによるガラス基板製造の安全確認作業等）、(株)オカムラ高畠事業所（講話、作業現場見学等）、たかはたファーム（講話、作業現場見学等、製品の試食体験）、インテグリス・ジャパン(株)（講話、作業現場見学等）、株式会社デンソー山形（講話、作業現場見学等）、株式会社ナカノアパレル（講話、作業現場見学およびオリジナルTシャツ作成）、(有)ウッド・メイク（講話、閉校記念品制作現場見学および体験）、サクサテクノ(株)（講話、作業現場見学）、(株)丸定（講話、現場見学および廃段ボールで製品制作）、精英堂印刷（講話、水なし印刷技術現場確認）、ネクスト環境コンサルタント(株)（講話、水質実験調査）、(株)ニューテックシンセイ（講話、木ロック制作体験）、(株)米沢食肉公社（講話、作業現場見学、米沢牛調理体験）、アルス(株)（講話、作業現場見学）、フジクラ電装（講話、作業現場見学）の計17社を5班に分けて実習等実施：2年生78名。

○長期インターンシップ：2名参加

- ・スーパー1件。レジにおける袋詰め、商品管理業務、POP制作、商品陳列、段ボール製作、ファストフードコートの開店準備、清掃、総菜盛り付け等を体験。

⑩置賜農業高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：2回

- ・生成AI（人工知能）チャットGPTについての現状とこれからの利用例などを学習した。最新の情報を紹介する形で講義を実施：2年生79名。
- ・南陽市建設課、古久根建設(株)、太田建設(株)、(株)置賜総合開発における仕事の意義や高校で学ぶべき事の全体講話やグループワークを実施：2年生17名。

○産業現場実習：2回

- ・(有)熊谷園芸において農業の魅力・楽しさ講話、生産現場体験や出荷調整場の見学を実施：1年生27名。
- ・(有)舟形マッシュルームにおいて農業の魅力・楽しさ講話、生産現場体験や出荷調整場の見学を実施：1年生31名。

○長期インターンシップ：6名参加

- ・地元牧場、酪農、果樹園、農業法人、農家、農機具製造メーカー6件。牛の餌やり、わら補給、清掃、えさの運搬、水田の草刈り、スイカの収穫や化粧箱組立、ぶどうの袋掛け、電柵設置やコンバインメンテナンス、エンジンオイル交換やトラクター搬送等を体験。

⑪長井工業高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：1回

- ・電動モビリティシステム専門職大学教授による「明るい未来を創る電子制御システム」という演題にて、AI・IoT・ドローン・ロボティクスへの活用事例を聞きながら、AI・IoT等の最新技術について理解を深めた：全校155名。

○産業現場実習：1回

- ・朝日金属工業(株)・(株)日栄製作所・(株)トップパーツにおける工場見学や地元企業の魅力について講話を実施：2年生18名。

○長期インターンシップ：3名参加

- ・イベント企画運営会社、電子部品製造会社、印刷会社3件。イベント企画運営会社におけるイベント企画、運営、機材の管理、電子部品製造会社におけるゲーム機部品製造、パソコンデータの読み取り、スマートフォンの修理、印刷会社におけるデザインや印刷業務、

名刺作成、製本作成、Tシャツ印刷を体験。

⑫鶴岡工業高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：1回

- ・起業家によるVRアートへの挑戦やアイデアの大切さやVR活用の未来、高校生へのメッセージについて講演を実施：全校468名。

○産業現場実習：1回

- ・山形大学工学部における「ひらめき☆ときめきサイエンス」「やわらか材料×AI×4D プリントリングが加速させる未来のものづくり体験」を実施：1～3年生6名。

○長期インターンシップ：5名参加

- ・モーター製造会社、情報通信会社、建設会社3件。モーター製造会社におけるギアの歯端面取り加工、シャフト加工、情報通信会社におけるLANケーブル製作、プログラミング、建設会社におけるレベル測量、配筋検査、コンクリート試験、玄関部分の墨だし、ドローン操作等を体験。

⑬加茂水産高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：1回

- ・庄内ドローンファクトリーによる大型の農業用ドローンの見学や物流用ドローンの運航について講義を実施、実際に機体の操縦を行った。AI搭載のドローンでは対象となるものを追従したり、間隔を離しながらトラッキングしたりと、技術の進歩を体験：1，2年生37名。

○産業現場実習：1回

- ・山形県水産振興協会三瀬栽培漁業センターにおけるアユ、ヒラメ、アワビの親魚・母貝、稚魚・稚貝の管理手法として、対象生物の通常管理となる給餌、残餌処理業務を体験すると共に、年間を通した生物管理の流れを体験：2年生8名。

○長期インターンシップ：2名参加

- ・曳舟会社、食品製造販売会社2件。曳舟会社における出入港前作業、船内巡視、船体整備作業、航海計器の取扱作業、操船補助作業、食品製造販売会社におけるラベルシール貼り、原材料加工作業、商品拭き等を体験。

⑭庄内農業高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：1回

- ・㈱まいすたあと㈱インフィニファームによる稲作を中心とした世界と日本農業の現状という内容でドローン活用や衛星システム活用による葉色診断からの可変施肥等のスマート農業の内容を講話や果樹農家の課題として、手作業が未だに中心であるが、収穫及び農薬散布のロボット化が進められている現状とその課題について講話を実施、その後対話形式で情報交換を行った。：2年生39名。

○産業現場実習：1回

- ・(有)新庄東山焼と㈱八鍬土建による粘土の手びねり陶芸制作実習、ワサビ栽培の見学・説明、わさび醤油作成実習：40名。
- ・東北電気保安協会による電気のスマート保安やAIを活用した電気の安全点検、VRを活用した模擬疑似体験を実施：1，2年生計59名。
- ・㈱NTT-MEによるVR危険体感、フルハーネス体験、高所作業車乗車体験、光ファイバー融着体験、卒業生講話を実施：2年生3学科116名。

○長期インターンシップ：3名参加

- ・農家、農園、森林組合3件。農家における稲作の灌水作業、枝豆の収穫・選別・出荷作業、農園における桃の収穫・運搬作業、森林組合における現場見学、外周測量、皆伐測量

の体験。

⑮酒田光陵高校

○各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修：3回

- ・(株)長浜建設、(株)丸高、遠田建設(株)、五十嵐工業(株)のグループワーク形式による建設業の魅力・技術・就業に関する講和・意見交換と測量研修を実施：2年生25名。
- ・通研電気工業(株)による各産業分野で「IoT」「AI」と呼ばれる技術がそれぞれ注目されており、それらの技術の意味付けや流行の背景などを解説し、実社会や事業（電力供給関連設備の製造・保守）における取組事例を紹介：1，2年生35名。
- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所名誉リサーチャーによる「ロボティクスの挑戦：技術進化と社会変革の最前線」という講義を実施。AIやディープラーニング、ロボットに必要な基礎技術、実用化されているロボット等を講義：工業科1～3年生計186名。

○産業現場実習：3回

- ・(株)プレステージ・インターナショナルによるビジネスマナー研修、情報セキュリティの重要性、CSマインド向上研修の実施：3年生37名。
- ・東北電気保安協会による電気のスマート保安やAIを活用した電気の安全点検、VRを活用した模擬疑似体験を実施：1，2年生計59名。
- ・(株)NTT-MEによるVR危険体感、フルハーネス体験、高所作業車乗車体験、光ファイバー融着体験、卒業生講話を実施：2年生3学科116名。

○長期インターンシップ：4名参加

- ・農機具製造会社、電気設備会社、税理士事務所3件。農機具製造会社における入出金伝票や振替伝票作業、入金票のチェック、電気設備会社における配線作業や変電設備機器の見学、浄水場電気設備メンテナンスの見学、PLCとボタン配線作業、税理士事務所におけるデータ入力作業、会計業務の補助、税務・会計に関する基礎知識の学習を行った。

<達成目標>

①地域産学連携コーディネーターの派遣：186時間

(14校×3回×3h+県教委勤務4人×5回×3h)

②コンソーシアム会議・研修会の開催：参集型1回・web会議2回

③研究報告書（デジタル版）の発行と普及：県内各高等学校及び各都道府県教委へ送付

④大学教授、産業実務家等の講義・実習：各学校2回（土木学科は1回追加）

⑤地域企業等における産業現場の実習（研修）：大学科ごとに1回実施

⑥地域企業等産業現場における長期インターンシップ：計60人

<目標達成状況>

①地域産学連携コーディネーター派遣：R6実績186時間（目標達成）

（学校訪問日数39日、117時間+教育委員会勤務18日、69時間）

②コンソーシアム会議・研修会の開催：参集型1回・web会議1回（概ね目標達成）

③研究報告書については、今後発行する。（令和7年5月予定）

④大学教授、産業実務家等の講義・実習：各学校2回（土木学科は1回追加）

⇒各学校平均1.5回実施。15校合わせて23回実施。複数学科で実施した学校もある。（概ね目標達成）

⑤地域企業等における産業現場の実習（研修）：大学科ごとに1回実施

⇒大学科ごとに平均1.5回実施。15校大学科22学科合わせて32回実施。同一学科で様々な産業現場実習を行った学校もある。（目標達成）

⑥地域企業等産業現場における長期インターンシップ：計60人

⇒52名。7月大雨災害等や新学科設立に伴う過渡期のため実施できない学科があった。
(概ね目標達成)

＜成果及び次年度以降の課題＞

- ①令和8年度以降の事業成果継続について
- ②産業教育連携協議会の自立化（外部からの資金獲得について）
- ③拠点校の特色ある取組の普及（横展開）について

（４）管理機関における取組実績

- 管理機関における各種事業の企画立案と実施
- 拠点校における当該事業の進行管理及び各取組に関する支援
- 令和8年度以降の取組の検討

4. 現時点の状況

拠点校における以下の数値について記入すること（拠点校ごとに記載）

拠点校名	山形県立山形工業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	1
② 産学連携コーディネーターの数	1名
③ 人材育成に関わっている企業等の数	23
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	41名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：68時間 一部を担当：16時間 教員とT.T：40時間
⑥ インターンシップ	企業数：98 平均期間：3日間 参加生徒数：186人

拠点校名	山形県立上山明新館高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	1
② 産学連携コーディネーターの数	1名
③ 人材育成に関わっている企業等の数	12
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	16名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：6時間 一部を担当： 教員とT.T：13時間

⑥ インターンシップ	企業数：32 平均期間：2日間 参加生徒数：65名
------------	---------------------------------

拠点校名	山形県立山辺高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	1
② 産学連携コーディネーターの数	10名（学校魅力化推進委員9名）
③ 人材育成に関わっている企業等の数	7 （他に実習：食物7、福祉48、看護14）
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	7名 （他に実習：食物7、福祉48、看護65）
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：30時間（看護専攻科） 一部を担当：818時間（看護専攻科） 教員とT.T：63時間（食物科）
⑥ インターンシップ	企業数：7（食物科） ：48（福祉科） ：65（看護科） 食物科 15日 福祉科 20日 看護科 29日 参加生徒数：食物科52人 ：福祉科53人 ：看護科175人 ※福祉科・看護科は臨地実習

拠点校名	山形県立寒河江工業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	1
② 産学連携コーディネーターの数	2名
③ 人材育成に関わっている企業等の数	4
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	13名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当： 一部を担当： 教員とT.T：56時間
⑥ インターンシップ	企業数：36 平均期間：3日間 参加生徒数：89人

拠点校名	山形県立村山産業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	2
② 産学連携コーディネーターの数	1名

③ 人材育成に関わっている企業等の数	約 40
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	約 60 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当： 一部を担当： 教員と T.T：54 時間
⑥ インターンシップ	企 業 数：70 平 均 期 間：3 日間 参加生徒数：104 名

拠点校名	山形県立新庄南高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	0
② 産学連携コーディネーターの数	0
③ 人材育成に関わっている企業等の数	10
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	約 20 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：0 一部を担当：0 教員と T.T：0
⑥ インターンシップ	企 業 数：1 平 均 期 間：5 日間 参加生徒数：1 人

拠点校名	山形県立新庄神室産業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	2
② 産学連携コーディネーターの数	1 名
③ 人材育成に関わっている企業等の数	39
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	78 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：88 時間 一部を担当：17 教員と T.T：48 時間
⑥ インターンシップ	企 業 数：52 平 均 期 間：3 日間 参加生徒数：86 人

拠点校名	山形県立米沢工業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	2
② 産学連携コーディネーターの数	1 名

③ 人材育成に関わっている企業等の数	9
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	17 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当： 一部を担当：2 時間 教員と T.T：
⑥ インターンシップ	企 業 数：66 平 均 期 間：3 日間 参加生徒数：120 人

拠点校名	山形県立米沢商業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	2
② 産学連携コーディネーターの数	1 名
特定の企業はなく、その都度依頼している。	10
同上	15 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：0 時間 一部を担当：0 時間 教員と T.T：5 時間
⑥ インターンシップ	企業数：3 平均期間：7 日間 参加生徒数：3 名

拠点校名	山形県立置賜農業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	1
② 産学連携コーディネーターの数	1 名
③ 人材育成に関わっている企業等の数	3
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	3 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：2 時間 一部を担当： 教員と T.T：2 時間
⑥ インターンシップ	企 業 数：37 平 均 期 間：3 日間 参加生徒数：45 名

拠点校名	山形県立長井工業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	1
② 産学連携コーディネーターの数	1 名

③ 人材育成に関わっている企業等の数	0
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	0 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当： 一部を担当： 教員と T.T：
⑥ インターンシップ	企 業 数：31 平 均 期 間：3 日間 参加生徒数：50 人

拠点校名	山形県立鶴岡工業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	1
② 産学連携コーディネーターの数	1 名
③ 人材育成に関わっている企業等の数	5
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	22 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：8 時間 一部を担当： 時間 教員と T.T：7 時間
⑥ インターンシップ	企 業 数：71 平 均 期 間：3 日間 参加生徒数：157 人

拠点校名	山形県立加茂水産高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	1
② 産学連携コーディネーターの数	1 名
③ 人材育成に関わっている企業等の数	15（自治体含む）
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	20 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：0 一部を担当：0 教員と T.T：20 時間（漁業実習含む）
⑥ インターンシップ	企 業 数：12 平 均 期 間：3 日間 参加生徒数：19 人

拠点校名	山形県立庄内農業高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	2
② 産学連携コーディネーターの数	1 名

③ 人材育成に関わっている企業等の数	4
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	4 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：8 時間 一部を担当： 教員と T.T：
⑥ インターンシップ	企 業 数：3 平 均 期 間：7 時間 参加生徒数：3 人

拠点校名	山形県立酒田光陵高等学校
① コンソーシアム（産業界、自治体など複数で構成される人材育成を目的に含む団体）の数	4
② 産学連携コーディネーターの数	1 名
③ 人材育成に関わっている企業等の数	8
④ 人材育成に関わっている企業等人材の人数	47 名
⑤ 企業等の人材が行う授業の数	一人で担当：8 時間 一部を担当：1 時間 教員と T.T：70 時間
⑥ インターンシップ	企 業 数：82 社 平 均 期 間：3 日間 参加生徒数：175 人